



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

令和3年度 第二回学校関係者評価委員会

令和3年11月29日（月）



— 本日の予定 —
全体会：
午後1時30分～
午後4時



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

校長挨拶

船山 世界

令和3年度前期取組みについて 中間報告 評価・ご意見 記入方法

Googleフォーム：<https://forms.gle/w4emtzrZRuLqFFDg9>



令和3年度第二回学校関係者評価委員会
評価記入シート

アカウントを切り替える

*必須

令和3年度 教育重点項目 前期実績報告

・コロナ禍対応 *

	十分	不十分
評価結果	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

コメント

回答を入力



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

議長選出

日專祭パンフレットデザイン

雲外蒼天

日專祭キャッチフレーズ

令和3年度 教育重点項目
前期実績報告



報告内容

1. 令和3年度前期 学校の近況

- ① 新型コロナウイルス感染症禍対応
- ② 学生の活躍
- ③ 日本留学AWARD2021 大賞受賞

2. 令和3年度前期 教育重点項目(中間報告)

- ① NEXT10「日本電子専門学校のさらなる伸張」
- ② クリエイター教育
- ③ エンジニア教育



学校法人 電子学園

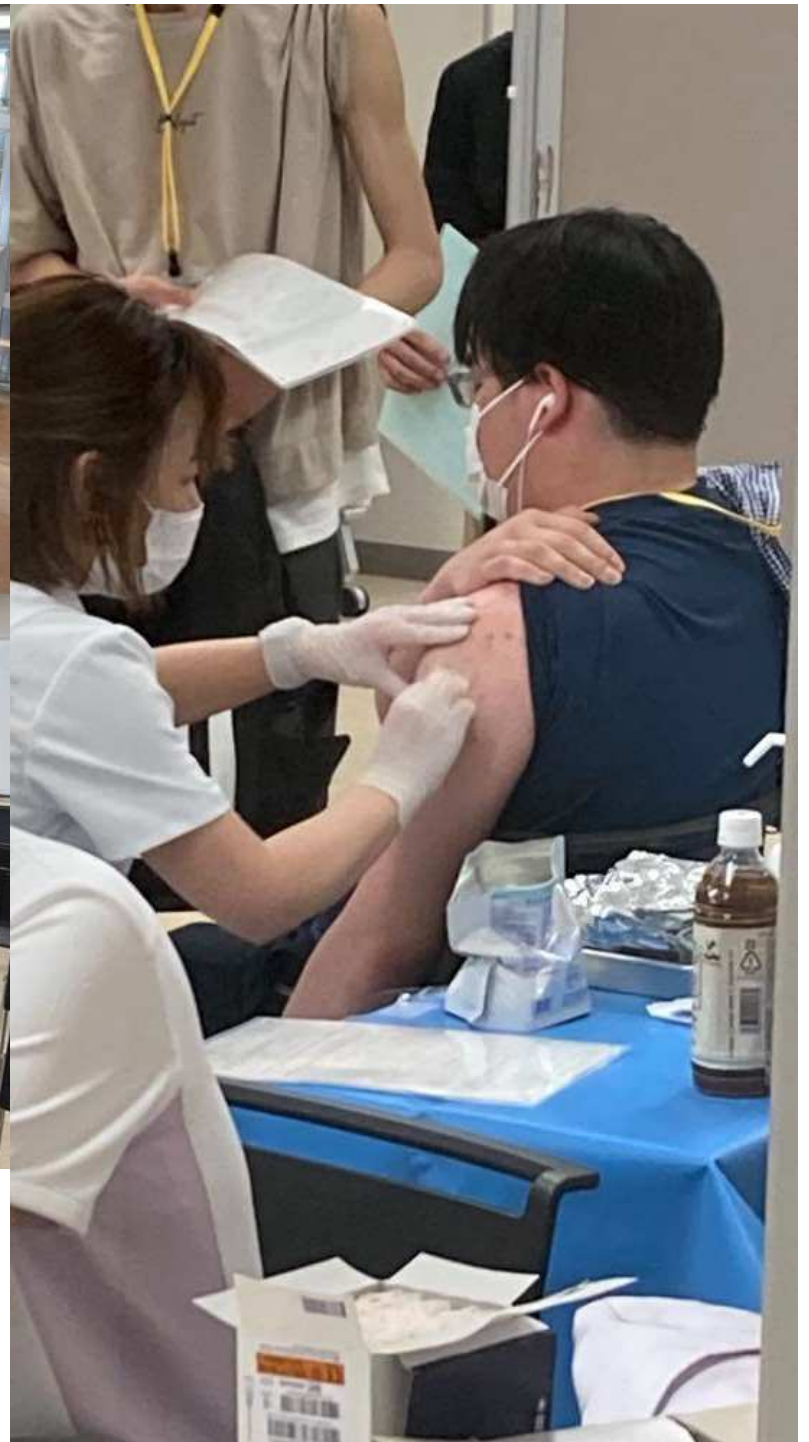
日本電子専門学校

令和3年度前期 学校の近況



新型コロナウイルス感染症禍対応

- 政府緊急事態宣言
 - 第3回:4/25～6/20、第4回:7/12～9/30
 - オンライン授業を取り入れたハイブリッド運用によって教育を継続
- コロナ・ワクチン職域接種の実施
 - モデルナ社製ワクチン
 - 第1回接種:7/22～8/3
 - 第2回接種:8/19～8/31
 - 教職員合計:約1,800名



コロナ・ワクチン職域接種の様子



新型コロナウイルス感染症禍対応

- 入学式(4/10)
 - 学校関係者に限定して実施、映像同時配信
- 新入生保護者会(4/24)
 - オンライン開催(VOD形式)
- スポーツフェスティバル(8/30)
 - 中止
- 合同企業説明会
 - 春季(4/29)、夏季(7/26)、秋季(10/12)
 - NSビル開催、感染防止ガイドライン(企業数限定、アクリルボード)
- 保護者会(10/16)
 - オンライン(VOD全体会+ZOOM個人面談)
- 日専祭(10/30-10/31)
 - 感染防止ガイドライン(飲食・屋台なし)
 - 2日目は衆議院議員総選挙で投票優先シフト

コロナ対策



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

●第52回日専祭



新型コロナウイルス 感染対策について

本校では新宿区のガイドラインに従って感染対策を実施しております。ご来校に際しましては、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

お客様へのお願い

次の方は、ご来校をお控えください。

- 37.5°C以上の発熱がある
- 咳、くしゃみ、鼻水、咽頭痛など風邪のような症状がある
- ご入場前に検温、体調などの確認をし、上記の症状がある方はご入場をお断りいたします
- 校内で激しくせき込むなど、風邪のような症状のある方には、ご帰宅をお願いする場合があります

校内では以下のことにご配慮ください。

- 手指の消毒
- マスクの着用
- 周りの方との距離を十分とってご覧ください

学校の取り組みにご理解をお願いします。

- 使用した道具や器具は使用後に消毒液で清掃をしています
- 展示会場では窓を開けての換気を実施しています
- 配布物は据え置き方式での配布となります





学生の活躍

- 第59回技能五輪全国大会選考会
 - 8月2日(月)~3日(火)、愛媛県松山市
 - 【予選通過】ITネットワークシステム管理・・・荻野 宏輔
 - 第59回技能五輪全国大会予定12月17日(金)~20日(月)、東京都大田区
- 第16回若年者ものづくり競技大会
 - 8月4日(水)-5日(木)、愛媛県松山市
 - 【金賞】グラフィックデザイン・松本 美咲
 - 【銀賞】ITネットワークシステム管理・鵜澤 美咲
 - 【銀賞】業務用ITソフトウェア・ソリューションズ・奥田真執
 - 【銅賞】Webデザイン・・・田村 秋音
 - 【出場】電気工事・・・松本 将克



学生の活躍



The image is a red and black award announcement banner. On the left, there is a gold medal with a red ribbon. The medal has the text '金賞' (Gold Award) and '厚生労働大臣賞' (Minister of Health, Labour and Welfare Award). Next to the medal is a circular photo of a young woman with short black hair, wearing a pink shirt and a white apron with the number '2'. Below the photo is the name '松本 美咲さん' (Mami Matsumoto). To the right of the photo, the text '2021' is written in large, semi-transparent grey letters. Below '2021' is the 'world skills Japan' logo, which includes a stylized white figure and the text 'world skills Japan'. Below the logo, it says '第16回' (16th) and '若年者ものづくり競技大会' (Young People's Manufacturing Competition). Below that, it says 'グラフィックデザイン職種' (Graphic Design Occupation). At the bottom of the banner, in large white text on a red background, it says '金賞・厚生労働大臣賞を受賞! 松本 美咲さん' (Gold Award, Minister of Health, Labour and Welfare Award recipient! Mami Matsumoto).

金賞
厚生労働大臣賞

松本 美咲さん

2021
world skills
Japan

第16回
若年者ものづくり競技大会
グラフィックデザイン職種

金賞・厚生労働大臣賞を受賞! 松本 美咲さん



学生の活躍

- ACA世界学生大会2021

日本代表

– グラフィックデザイン科

白土絢音

– 11月22日(月)に結果発表(予定)



ACA世界学生大会は、アドビ認定アソシエイト(ACA)の資格取得を通じ、アドビのソフトウェアを活用する次世代のデザインプロフェッショナルを育てることを目的とした世界規模の大会です。



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

日本留学



AWARDS 2021
東日本地区 専門学校 技能・技術系部門

2012-2016 5年連続大賞
2017-2019 殿堂入り
2020 入賞
2021 大賞(6度目)

日本語学校の教職員が選ぶ 留学生に勧めたい進学先

大賞 獲得!!



日本語学校の教職員が、自校で学ぶ留学生に勧めたい進学先を投票する「日本留学AWARDS」。10年目の今大会は「大学部門」と「大学院部門」の統合、専門学校では「技能・技術系部門」と「社会・文化系部門」の2部門に分けての選考となりました。本校は、日本全国にある400校以上にのぼる日本語教育機関教職員からの投票結果により「東日本地区 専門学校 技能・技術系部門」にて大賞に選出されました。

日本語学校教職員からの推薦のこぼ

- 就職まで確実に導いてくれる
- これからの時代に活かせる専門スキルを学ぶことが出来、就職率も高い
- 面倒見が良く、就職サポートが手厚いと卒業した学生からも聞いている
- 教育レベルが高く、最新設備が整っている
- 教育内容もAI等、最先端の分野について専門的な勉強が出来る
- どの学生も学習内容、就職サポートに満足している様子
- 進学した学生に何か問題があった時など、すぐに連絡をくれ一緒に考えてくれる担当者の存在が大きい



日本電子専門学校の受賞実績

- 2012年～2016年 5年連続大賞受賞(東日本地区 専門学校部門賞)
- 2017年～2019年 殿堂入り(ノミネート対象外期間)
- 2020年 入賞(東日本地区 専門学校部門賞)
- 2021年 大賞(東日本地区 専門学校 技能・技術系部門)



日本留学AWARDS2021 受賞校一覧	西日本地区	東日本地区
専門学校 技能・技術系部門	専門学校トヨタ名古屋自動車大学校	日本電子専門学校
専門学校 社会・文化系部門	専門学校エール学園	専門学校東京国際ビジネスカレッジ東京校
私立大学 文科系部門	流通科学大学	拓殖大学
私立大学 理工系部門	立命館大学	東京理科大学
国公立大学 部門	神戸大学	横浜国立大学



学校法人 電子学園

日本電子専門学校



令和3年度前期 教育重点項目 中間報告



令和3年度 教育重点項目

NEXT10「日本電子専門学校のさらなる伸張」

- ① 「建学の精神」の実現に向けた「教育の質の保証・向上」
- ② EM・IRによる組織的學生指導の充実
- ③ 学生主導で社会人基礎力を養うキャリア教育の充実
- ④ 新設学科開発フレームを活用した調査・検討
- ⑤ 遠隔授業の標準化・質保証と先端テクノロジーの利活用

クリエイター教育の重点項目

- ⑥ 教員の資格取得
- ⑦ 業界との連携を強化、現職による本校独自の教員研修

エンジニア教育の重点項目

- ⑧ 夜間部学科の再構築検討



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

グラフィックデザイン科作品展示会ビジュアル



+Touch

新しい価値に 触れる体験を

- ① 「建学の精神」の実現に向けた
「教育の質の保証・向上」



① 学修成果の位置付けを定義する

<h3>学修成果</h3>	<p>学修成果を中間アウトカムズと位置付け、本校卒業時に学生が身に付けるべき知識・技能・技術・態度として、修了時に学生が何をできるようになっているかを示すことである。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 中間アウトカムズ(卒業時に評価する短期的な位置付け)➤ 最終アウトカムズ(卒業から数十年経過後に評価する長期的な位置付け)
---------------	--



② ディプロマポリシーに基づいて、学修成果の測定方法を確立する(可視化)

学修成果の測定(評価)	学修成果の測定(評価)は、「直接評価」を中心とし、「間接評価」を補足的に用いることを基本とする。具体的な方法については、今後検討を進めることになる。
学修成果の可視化	学修成果の可視化については、「ディプロマサプリメント(仮称)」の作成を試験的に行う。 <ul style="list-style-type: none">➤ 「ディプロマサプリメント」とは、海外の大学において、学士、修士などの学位に添付される補足書類として多くの国で導入されている。国内の大学での導入は少ないが、学修成果の可視化ツールとして位置付けられている。



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

株式会社帆風の工場見学(グラフィックデザイン科)



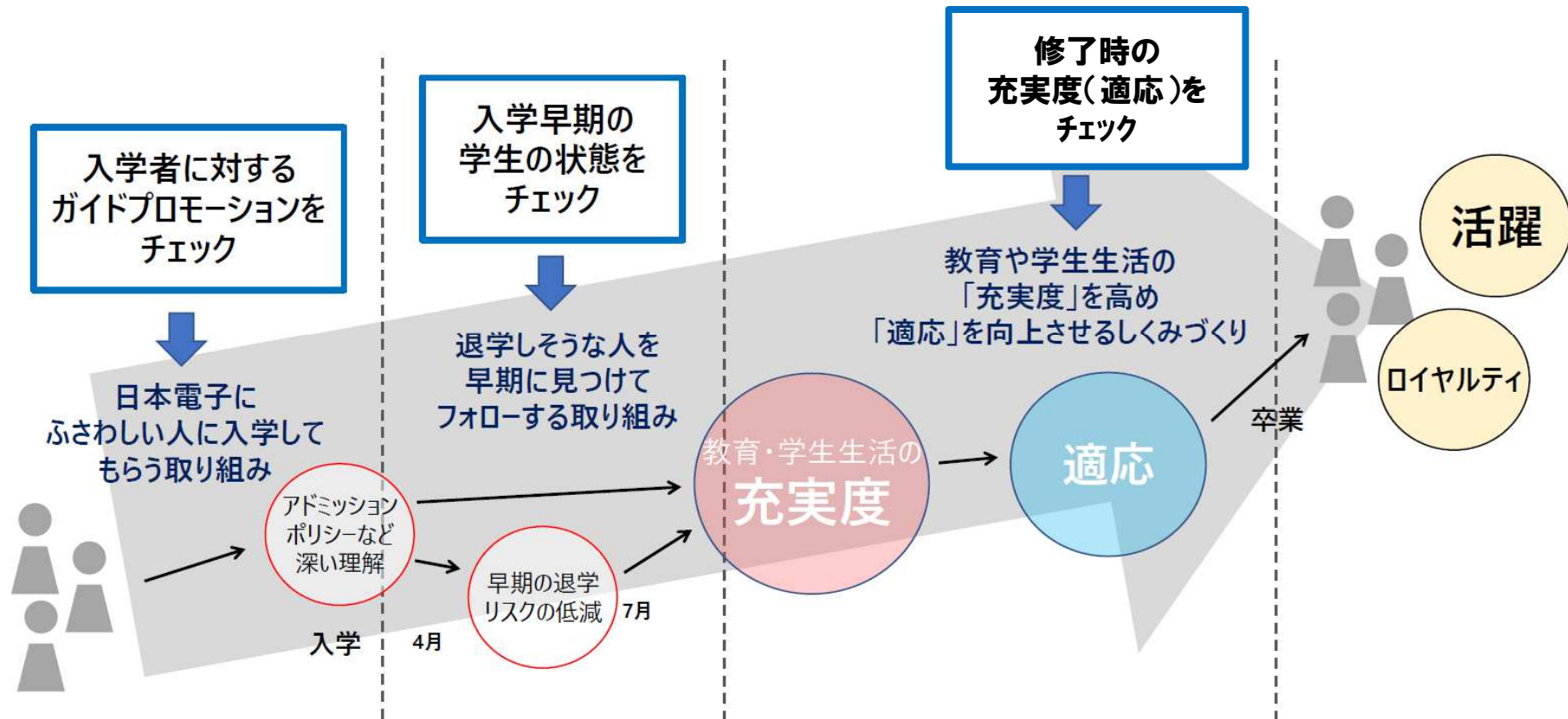
② EM・IRによる組織的 学生指導体制の充実



- EM (Enrollment Management)
 - 一人の学生が当該大学に興味を持った瞬間から「志願—合格—入学—在学—卒業—同窓」までを一貫してサポートするマネジメントの考え方。
- IR (Institutional Research)
 - 大学経営(教学を含む)を支える調査・分析機能とそのための組織のこと。
- 分科会のミッション
 - EM・IRによるドロップアウト防止に資する新たな対策の立案。
 - EM・IRの一環として新入生対象アンケートの開発・実施・分析。



・エンロールメントマネジメントの充実



● 学生満足度調査バージョン情報

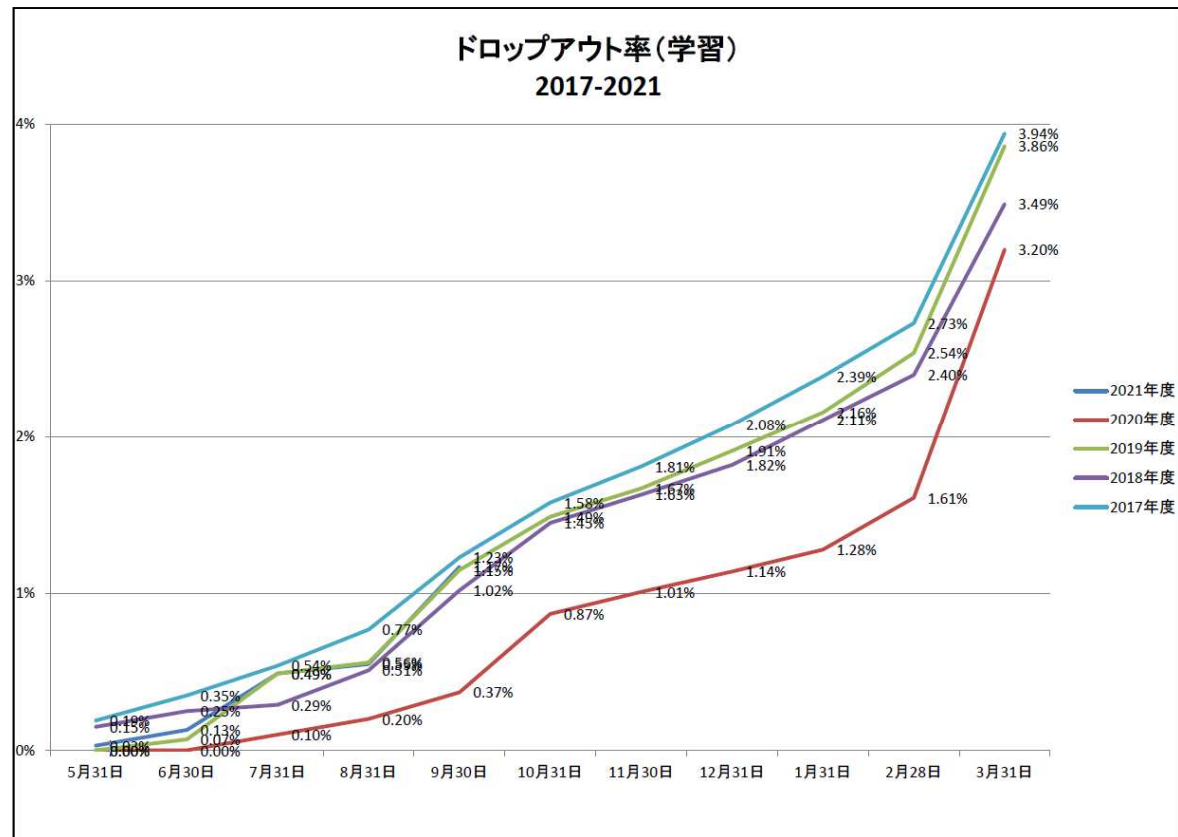
NO	Version名	実施時期	対象学生数	データ数	回収率	設問数
①	Ver.1	H28.7	1144	1090	95.3%	55
②	Ver.2	H29.6	1316	1260	95.7%	55
③	JEC WEEK①	H30.4	1372	1349	98.3%	30
④	Ver.3	H30.7	1372	1305	95.1%	40
⑤	卒業生①	H31.3	1058	1012	95.7%	127
⑥	JEC WEEK②	H31.4	1416	1400	98.9%	28
⑦	Ver.4	R1.7	1416	1340	95.0%	40
⑧	卒業生②	R2.3	1066	983	92.2%	120
⑨	JEC WEEK③	R2.6	1461	1448	99.1%	65
⑩	Ver.5	R2.8	1421	1398	98.4%	73
⑪	卒業生③	R3.3	1208	1100	91.1%	126
⑫	JEC WEEK④	R3.4	1572	1464	93.1%	56
⑬	Ver.6	R3.7	1544	1396	90.4%	48



「学習」を理由とした前期ドロップアウト率(退学率)の推移

・9月末日実績

2017年度: 1.23%
 2018年度: 1.02%
 2019年度: 1.15%
 2020年度: 0.37%
2021年度: 1.17%





新入生アンケートを用いた「退学傾向にある学生」の早期発見

- 新入生アンケートにおいて退学傾向にある学生を早期発見する設問を設置した。
- 4月アンケートで153名、7月アンケートで236名が退学傾向にある学生に該当した。
- 退学傾向にある学生343名をピックアップして担任教員と共有し、退学防止に努めた。
- このデータの信頼性は、担任教員から一定程度の支持を得ている。
- 前期に実際に休退学した88名のうち36名を退学傾向にある学生としての的中させていた。
- 7月アンケートでは、4月アンケートと比較して、「登校回避」「進路変更」「退学意向」が上昇した。



③ 学生主導で社会人基礎力を 養うキャリア教育の充実



- 本テーマの目的
 - － ①学生自治会の適正運用、②学生主体の学校行事の在り方の検討、③クラス内組織の検討を通して、学生の社会人基礎力が向上すること
- 前期の成果
 - － 百人町西町会の清掃活動
 - － 学校関係者評価委員会への参加
 - － 日専祭の実施
 - － 学生自治会公式サイトの制作
 - － ミュージカル鑑賞(中止)
 - － スポーツフェスティバルの実施(中止)
- 後期に向けた課題
 - － 学生の社会人基礎力の測定
 - － クラス内組織の検討

キャリア教育分科会



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

令和3年度 学生自治会メンバー 合計15名
(うち、日本電子専門学校特別奨学生4名)

役 職	氏 名
委員長	チェ ソンヒョク
副委員長	水野瑞希
書 記	小川 大輝、伊藤雅恵
総 務	伊波絵莉花、鵜澤美咲、伊東佳汰、徐 浩瀚、余 俊穎 後藤 耕太郎
イベント	佐藤百合奈、イウンソ、西村勇輝
ボランティア	李致潔
広 報	高杉一輝



④ 新設学科開発フレームを活用した調査・検討



- 令和3年度実施予定項目
 - 新設学科提案 第二次スクリーニング(前年度提案分)
 - 既存の新設学科募集項目のブラッシュアップ、学科新設スキームの構築
 - 附帯教育提案活用スキームの検討
- 令和3年度上半期の実績
 - 第二次スクリーニングに進んだ提案がなかった
 - 募集方法等について検討
 - 「一般公募」および、「新設学科検討チームによる提案」のダブルラインを設定し、学科新設に向けた検討・準備を進めることを決定した。



- 下半期に向けた課題等
 - 18歳人口が減少する将来展望がある中、学科新設の検討にスピード感が求められている。
 - 検討のスピードを上げる。



⑤ 遠隔授業の標準化・質保証と 先端テクノロジーの利活用



- 検討目的
 1. 遠隔授業ガイドラインの策定を行う
 2. ナレッジベースの構築を行い、業務に関する知見を共有化する
 3. 教育への先端テクノロジー利活用の検討を行う

- チーム編成
 - － 標準化検討チーム
 - 研修企画、ガイドライン策定、授業配信環境整備・高度化等、学内横断的な部分を取り纏める
 - － 調査研究チーム
 - 遠隔授業の効果を高めるため、ノウハウを集約したナレッジベースの構築・運用を行う。
 - 先端テクノロジーの利活用についてもその方策を検討する。



- 令和3年度前期の成果
 1. 遠隔授業で活用できる、オンライン授業での効果的な教授法に関する研修の実施。
 2. 令和4年度以降のオンライン授業運用に関する提言を作成、及び本プロジェクトのアウトプットを定義。
- 後期に向けた課題
 1. 教員向けオンライン授業アンケート分析に時間がかかっている。
 2. ナレッジベースを使うための敷居をどこまで下げられるか。



学校法人 電子学園
日本電子専門学校



クリエイター教育

学生作品(CG映像制作科) ³⁶



●令和3年度 重点項目

◆クリエイター教育 教員のスキルアップ

(1) 教員の資格取得 推奨

(2) 企業・業界との意見交換会 企画・運用



● (1) 教員の資格取得 推奨

- ・Unity認定アソシエイト
(ゲーム開発者／プログラマー／デザイナー)
- ・CompTIA CTT+
- ・CGクリエイター検定 エキスパート 等

→ 教員8名に、Unity認定アソシエイトの
コースウェア(オンライン教材)を提供、
資格取得に向けたサポートを実施

● (2) 企業・業界との意見交換会 企画・運用

- ・採用担当者との情報共有・意見交換
- ・現職クリエイター、エンジニア等との意見交換
 - 現場で求められる人材像、技術の再確認

→ CG-ARTS (公益財団法人 画像情報教育振興協会) に協力を要請、実施内容・方法の検討、講師候補者のリストアップを実施したが意見交換会実施には至らず



●後期に向けて

・教員の資格取得を実現する諸対応

Unity認定アソシエイト(ゲーム開発者 他)

コースウェア提供、検定試験実施

※CompTIA CTT+ 取得に向け、教員2名が対応中

・企業・業界との意見交換会 複数回開催

クリエイター教育 全教員の半数以上を参加させ、

学生指導力の底上げを図る



学校法人 電子学園

日本電子専門学校



エンジニア教育

令和3年度 エンジニア教育 重点項目

◆夜間部学科の再構築検討

・夜間部学科ラインナップ

電気工学科

情報処理科

電気工事士科(1年制)

ネットワークセキュリティ科

・夜間部授業時間

1限 17:50～19:20

2限 19:30～21:00

・授業日

月曜～土曜(2年次は金曜まで)



夜間部学科の再構築検討

既知の課題感

- ・仕事をしながら通学している学生の出欠席
業務繁忙期には遅刻・欠席をしやすい
- ・専門士の要件を満たす為、学事日程が昼間部に比べて長くなっており、フォローアップの日程を確保しづらい
- ・教員の業務時間
常勤教員が担当しているため、業務時間が長くなりやすい
(非常勤教員も半分程度の駒を担当している)



夜間部学科の再構築検討

再構築検討

- ・オンライン授業の導入により、登校日を減らす仕組みはとれないか
 - オンデマンド授業の形式を採用し、学生にとってある程度自由な時間に学習できる体制をとれないか
- ・単位制の導入により、履修しやすい教育課程にならないか
 - 導入している学校の仕組みを調査・検討



夜間部学科の再構築検討

後期に向けて

- ・令和4年度授業より、週1日のオンライン授業（含むオンデマンド授業）の実施を目指す

→対面授業と変わらない教育の質の担保が第一優先

- ・単位制の導入については、継続して調査・検討を行う



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

ご静聴、有難うございました。

コロナ禍に負けず、教育を継続してまいります。
引き続き、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。